



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月4日

上場会社名 昭和鉄工株式会社 上場取引所 福
 コード番号 5953 URL <http://www.showa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田俊仁
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 一木和弘 (TEL) 092-651-2933
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	7,997	0.9	104	—	180	—	142	—
27年3月期第3四半期	7,928	△2.4	△224	—	△175	—	△136	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 137百万円(△65.3%) 27年3月期第3四半期 396百万円(△34.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	17.51	—
27年3月期第3四半期	△16.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	15,208	3,967	26.1
27年3月期	15,197	3,871	25.5

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 3,967百万円 27年3月期 3,871百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	11,200	△0.0	200	—	220	996.0	70	△27.8

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期3Q	8,970,000株	27年3月期	8,970,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	822,406株	27年3月期	818,717株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期3Q	8,150,378株	27年3月期3Q	8,431,874株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第 3 四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第 3 四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国をはじめとする新興国の景気減速や原油安による資源国の景気下振れ懸念及び中東の地政学的リスクの高まり等、先行き不透明感が強まりました。一方で、政府の経済対策や金融政策により、企業業績や雇用情勢は改善傾向にあり、景気は総じて緩やかな回復基調が続きました。

このような情勢の中で当社グループは、経営体制の変更を行い、当社の事業領域から離れた事業進出を中断するとともに、新たに「本業回帰で筋肉質な企業体質を実現する」を掲げ、平成31年までに連結売上高120億円以上、安定的に連結売上高営業利益率3%以上を実現するため、「事業の選択と集中」「差別化新製品の開発」「固定費の最小化」に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、79億9千7百万円(前年同期比0.9%増)となりました。

損益面につきましては、営業利益1億4百万円(前年同期は営業損失2億2千4百万円)、経常利益1億8千万円(前年同期は経常損失1億7千5百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億4千2百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億3千6百万円)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

・機器装置事業

機器装置事業につきましては、サーモデバイス機器は液晶用加熱炉が計画以上に出荷、売上計上できたことにより好調に推移しました。空調機器はエアハンドリングユニットやファンコイルユニットが好調に推移、環境機器も電気ヒーターが好調に推移しました。一方で、熱源機器は主力の鋼板製ボイラー、ヒーター、業務用エコキュートが伸び悩み低調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は51億4千1百万円(前年同期比0.8%減)となりました。

・素形材加工事業

素形材加工事業につきましては、景観製品は大型案件が売上計上できたことにより好調に推移しました。また、鋳造品は横ばいで推移しました。

この結果、当事業の売上高は12億2千7百万円(前年同期比4.6%増)となりました。

・サービスエンジニアリング事業

サービスエンジニアリング事業につきましては、有料サービスが好調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は16億2千8百万円(前年同期比3.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第 3 四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1千万円増加し、152億8百万円となりました。主な要因は、たな卸資産（商品及び製品、仕掛品、原材料）が4億5千7百万円、現金及び預金が4億4千7百万円増加した一方、有価証券が1億9千9百万円、投資有価証券が3億6千7百万円、売上債権（受取手形及び売掛金、電子記録債権）が3億1千8百万円減少したことによるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べ8千5百万円減少し、112億4千万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が1億6千3百万円が増加した一方、流動負債「その他」が1億7千2百万円、退職給付に係る負債が8千9百万円減少したことによるものであります。

純資産については、前連結会計年度末に比べ9千6百万円増加し、39億6千7百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が1億1百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年 3 月期通期の連結業績予想につきましては、平成27年11月 5 日に公表いたしました数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年 9 月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年 9 月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第 7 号 平成25年 9 月13日)等を、第 1 四半期連結累計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第 3 四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,506	2,954
受取手形及び売掛金	3,495	3,148
電子記録債権	211	240
有価証券	600	400
商品及び製品	194	297
仕掛品	692	1,033
原材料	326	340
その他	99	209
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	8,124	8,621
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,581	1,581
その他（純額）	991	959
有形固定資産合計	2,572	2,540
無形固定資産	41	37
投資その他の資産		
投資有価証券	3,854	3,487
その他	631	548
貸倒引当金	△26	△26
投資その他の資産合計	4,459	4,009
固定資産合計	7,073	6,587
資産合計	15,197	15,208
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,642	2,806
短期借入金	4,420	4,020
未払法人税等	17	43
その他	989	816
流動負債合計	8,069	7,687
固定負債		
長期借入金	870	1,250
退職給付に係る負債	1,832	1,742
繰延税金負債	187	205
その他	367	355
固定負債合計	3,256	3,553
負債合計	11,326	11,240

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年 3 月 31 日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,641	1,641
資本剰余金	1,225	1,225
利益剰余金	605	707
自己株式	△146	△147
株主資本合計	3,325	3,426
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	550	565
為替換算調整勘定	219	159
退職給付に係る調整累計額	△225	△184
その他の包括利益累計額合計	545	540
純資産合計	3,871	3,967
負債純資産合計	15,197	15,208

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 3 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年12月31日)
売上高	7,928	7,997
売上原価	6,211	6,217
売上総利益	1,716	1,779
販売費及び一般管理費	1,940	1,674
営業利益又は営業損失 (△)	△224	104
営業外収益		
受取利息	19	17
受取配当金	53	62
持分法による投資利益	7	28
その他	36	32
営業外収益合計	116	142
営業外費用		
支払利息	59	55
その他	9	10
営業外費用合計	68	65
経常利益又は経常損失 (△)	△175	180
特別利益		
固定資産売却益	22	-
投資有価証券売却益	32	-
特別利益合計	54	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△120	180
法人税、住民税及び事業税	16	37
法人税等合計	16	37
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△136	142
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△136	142

四半期連結包括利益計算書

第 3 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△136	142
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	448	14
退職給付に係る調整額	47	40
持分法適用会社に対する持分相当額	36	△59
その他の包括利益合計	533	△4
四半期包括利益	396	137
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	396	137
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	機器装置事業	素形材加工事業	サービスエンジニアリング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	5,181	1,172	1,574	7,928
セグメント間の内部売上高又は振替高	7	11	108	127
計	5,188	1,184	1,682	8,055
セグメント損失(△)	△124	△91	△8	△224

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△224
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△224

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第 3 四半期連結累計期間(自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計
	機器装置事業	素形材加工事業	サービスエンジニアリング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	5,141	1,227	1,628	7,997
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	15	64	92
計	5,153	1,243	1,692	8,089
セグメント利益又は損失 (△)	122	△59	41	104

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	104
四半期連結損益計算書の営業利益	104

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。